

「いのちの水」事業  
(2018年6月~2020年6月期)  
事業報告

【全体概要】

今期「いのちの水」事業は、前フェーズから引き続きネパールおよびラオスにて活動を実施しました。ネパールでは、継続して実施しているカトマンズ盆地の伝統的な貯水池の改善および下水処理施設・廃棄物処理施設（廃棄物より排出される浸出水）の水質改善に加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止緊急対策として公共市場や低所得集落における手洗い場の設置、また新型コロナウイルスの経済社会的影響を明らかにするための緊急調査を行いました。

ラオスにおいては、前フェーズから継続して実施した南部アタプー県における雨水地下貯水施設建設事業および女性のためのコミュニティ施設建設場および女性専用トイレにソーラー電灯を設置し、夜間でも女性が安心して利用できる環境を整備しました。

本事業に対して九州を中心に市民・企業・学校・団体の皆様から寄せられた多くの義援金や応援のメッセージに改めて深謝し、以下事業の報告をさせていただきます。

■事業名： 「いのちの水」プロジェクト

■事業実施場所： ①ネパール：カトマンズ渓谷周辺自治体 ②ラオス：アタプー県

■実施機関： 国連ハビタットネパール事務所、同ラオス事務所、ネパール工科大学環境工学部、CIUD（ネパール NGO）、国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン、パナソニック株

■技術協力： アクアサービス株式会社（福岡市）、パナソニック株（東京）

■事業予算： 25,000 米ドル（約 280 万円）

■事業内容：

①ネパール

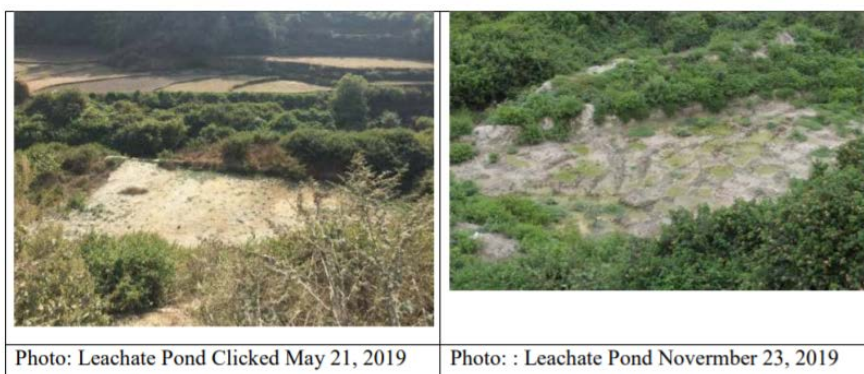
ネパールの都市部では伝統的に貯水池を中心に集落を形成し、コミュニティの洗濯、沐浴、など生活用水として、また雨期の降雨の治水として貯水池は重要な役割を果たしてきました。ところが近年の人口増化や都市化に伴う生活様式の変化、また 2015 年に発生した大地震による基本インフラへの影響により、生活排水や汚水が直接これらの貯水池や河川に流入しており、水質が著しく劣化しています。給水システムが普及せず、他に水を得る手段を持たない低所得コミュニティの多くはこの水に依拠しており、公衆衛生上緊急性の高い問題です。また、同様に下水処理場での処理やゴミ埋め立て場での浸出水の処理なども整備が追い付かず、原水のまま河川等に放流されており、自然環境への影響が懸念されています。本事業では、ネパール環境 NGO である CIUD: Center for Integrated Urban Development と事業実施パートナーとして、アクアサービス株式会社の技術指導の下、国連ハビタットネ

パール事務所、カトマンズおよび周辺自治体およびネパール工科大学環境工学部の協力のもと、バクテリア製剤をこれらの池・河川や下水処理槽等に投入し、水質の向上をはかり、併せてコミュニティに対する衛生教育およびコミュニティ住民によって池の清掃等メンテナンスを継続するためのキャンペーンやモニタリングを実施しました。

2020年4月以降は新型コロナウイルス感染拡大を受けてネパール政府によるロックダウンが実施され、上記プロジェクト関係者が河川や下水施設などの現場やコミュニティに赴くことが不可能となったこと、また緊急の新型コロナウイルス対応が必要となったため、活動内容を一部変更し、カトマンズ都市部の食品市場の出入り口や低所得コミュニティの中に公共の手洗い所等を設置、感染予防に努めました。

Tested Date	BOD (Biochemical Oxygen Demand)	Total Suspended Solid (TSS)	Remarks
23/04/2019	458 mg/l	123 mg/l	
25/06/2019	158.80 mg/l	115.0 mg/l	

上：カトマンズ渓谷ナラ市の下水処理施設での水質改善の経過。BOD(生物化学的酸素要求量)、TSS(浮遊物質)ともに著しい減少がみられます。



上：ゴミ埋め立て場の浸出水：水質が改善し臭気も減少しています。



上：新型コロナウイルス感染拡大防止のため設置された手洗い施設。

## ②ラオス

ラオスにおいては、前フェーズから継続して南部アタプー県に建設した雨水地下貯水施設(約 100 トンの雨水貯水)の整備を行いました。雨水は、国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン 30 周年記念事業として、ご寄贈いただいた「女性のためのコミュニティ施設」(2017 年 11 月完成)の屋根を活用し、女性たちが集まりやすい場所で生活用水を得られるよう工夫したものです。今フェーズでは、国際ソロプチミスト代表団が 2019 年 5 月に現地を訪問され、村の女性たちと交流を行いました。施設には女性専用トイレが設置されていますが、今回パナソニック(株)よりソーラーランタンの寄贈を受け、夜間でも女性が安心して利用できる環境を整備しました。



上：雨水を取水ポンプで汲みあげる村の女性。



上：国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン代表団の皆様とアタプー県の関係者・女性たちとの歓迎会。パナソニック(株)のソーラーランタン。